補足説明書

DAYTONA corp.

*この補足説明書は、取扱説明書を補足するものです。
*この補足説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの補足説明書も併せてお渡しください。

ガソリンボトル	適応車種	商品NO.
	汎用	71356 71357

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※　商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止

- 使用、及び保管は子供の手の届かない場所で行ってください。
- ガソリンボトルに注油、もしくは車体へ給油する際は、必ず地面へ接地させ、静電気を放電させてから使用してください。静電気の火花放電によりガソリン蒸気に着火する恐れがあります。
- 車体に固定する際はしっかりと固定し、漏れがないかよく確認してから走行してください。
- 注油の際は、必ずガソリンスタンド等のスタッフが行い、自己注油はしないでください。

⚠注意

実施

- 各容器の規定容量以上は絶対に入れないでください。キャップの開閉時に漏れる恐れがあります。
- ガソリン以外には使用しないでください。パッキンの劣化やキャップの変形の原因となります。
- キャップの開閉時にはネジ山に気をつけ、斜めに入らないよう十分に注意してください。
- 給油の際、万が一溢れても周囲を汚したり、人体に危険を及ぼさないよう注意してください。
- 必ずエンジンやメインスイッチ・その他電源スイッチをすべて切ってから使用してください。
- キャップを開ける際は、ゆっくりとキャップを回し、内圧を抜いてから開けてください。ガソリンが漏れる恐れがあります。
- 携帯する前に必ずキャップを確実に締め直し、漏れがないか確認してください。
- 給油の際は、ノズルをタンク内に落とさないようノズルをしっかりと取り付けてください。
- ガソリンボトル本体にサビ、劣化、破損、キャップに劣化、破損がみられる場合、直ちに使用を中止し、必要に応じて各部品を交換してください。

2013/09/19

- 内容物の有無に関わらず、直射日光が当たる場所、本体が高温になる可能性のある場所（車内やトランクルーム内などの密閉された場所）を避けた安全な場所で保管してください。
- 雨や雪が当たる場所や湿気の多い場所を避けて保管してください。
- 常に平らな場所で保管してください。
- 空の状態で長期保管する際は、キャップを少し開けた状態で保管してください。
- 長期間使用しなかった場合は、使用前に各部に異常がないかよく確認してから使用してください。
- 使用・保管状況によりボトル内部の圧力が大変高くなることがあります。こまめに内部の圧力を調整してください。

火気厳禁

- 給油・注油の際、周囲に火気が無い事を十分に確認してください。
- 火気のある場所での保管・使用は絶対にしないでください。
- ボトルが空になっても火気は避けてください。

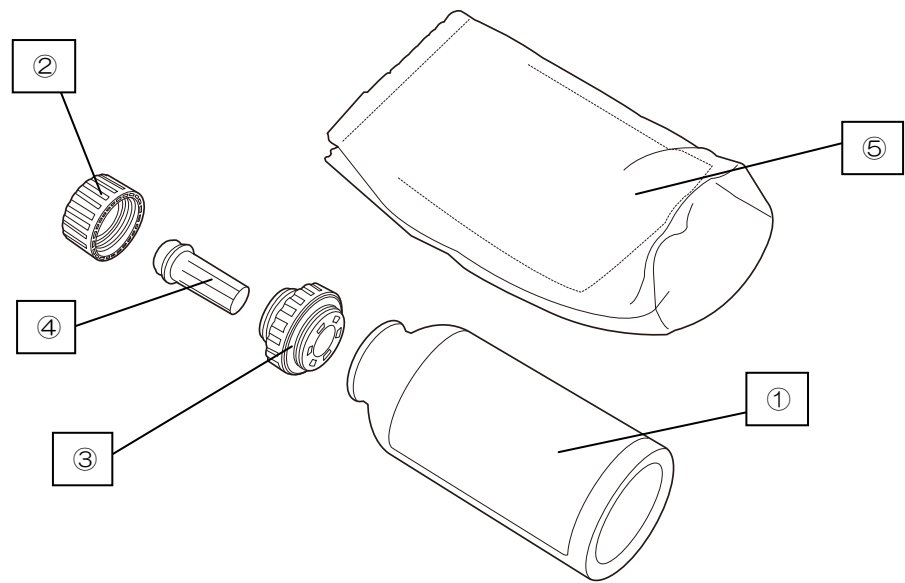
その他

- ガソリンボトルはステンレスを使用しておりますが、使用環境、使用状況などにより購入後１年ほどで錆や亀裂が発生する場合があります。給油する前にボトル内部を確認し、錆等発生している場合には使用を中止してください。
- ガソリンを長期間保管すると品質が変化することがあります。変化してしまうと燃料としての役割がなくなりますので早めに使用してください。
- 小出し分けなどをして空気（酸素）に触れる機会が多いと、品質の変化が早まりますので、できるだけ１回で使いきってください。
- ボトルに張り付けられてる商品ラベルは剥さないでください。

本商品の特徴

- 消防法適合品のため、資格がなくてもガソリンの携行ができます。
- 給油しやすいノズル付き。
- 錆びにくいステンレス製

商品内容

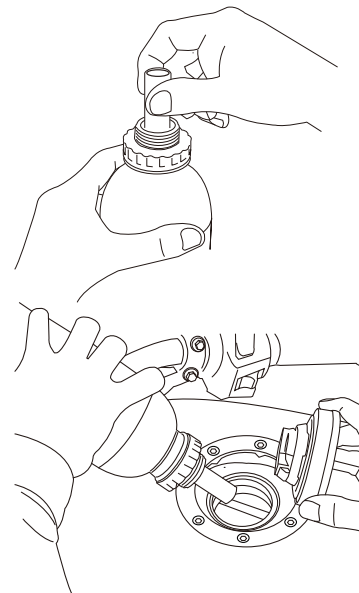
NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ガソリンボトル本体		1	④	ノズル		1
②	キャップ		1	⑤	収納袋		1
③	注油キャップ（ネジ部）		1				

使用方法

給油

1. ボトルを給油口が上向きになるように常に平らな地面に置き、接地させます。
   ※静電気の火花放電を防ぐため、必ず行ってください。
2. 周りの安全をしっかりと確認します。
3. ②キャップを「開」の方向にゆっくりと約半回転ほど回し、内部の圧力を抜きます。その後、キャップを完全に開けます。
   ※万が一漏れても身体や衣類、エンジン等にかからないようにしてください。

内部の圧力を抜いてからキャップを開けてください。

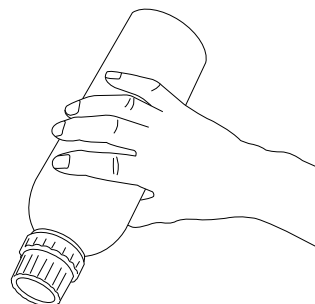
4. ノズルを引き出し、反転させ③注油キャップにしっかりと取り付けます。

5. 確実にノズルが付いているかを確認し、缶をしっかりと持って給油します。
   ※ノズルをタンクに落とさないように、しっかりと取り付けしてください。
6. 車体の給油口、②キャップを確実に閉めたことを確認し、作業は終了です。

注油

1. ボトルを給油口が上向きになるように常に平らな地面に置き、接地させます。
   ※静電気の火花放電を防ぐため、必ず行ってください。
2. 周りの安全をしっかりと確認します。
3. ③注油キャップを「開」の方向にゆっくりと約半回転ほど回し、内部の圧力を抜きます。その後、キャップを完全に開けます。
   ※残ったガソリンが周りに飛ぶ恐れがあります。ご注意ください。

内部の圧力を抜いてから注油キャップを開けてください。

4. 規定量以上入れないように注油します。
   ※規定量を超えるとキャップの開閉時に漏れる恐れがあります。
   ラベルに記載されているラインを必ず守ってください。
   ※自己注油しないでください。セルフ式のガソリンスタンドの場合でもスタッフの方に依頼してください。
5. 注油後、ネジ山が斜めになっていないか確認してからキャップを閉めてください。

6. 携帯する前に、漏れがないか必ず確認し、作業は終了です。
   注）収納袋に入れた状態で直接車両にぶら下げて移動、保管しないでください。収納袋は防水・防炎ではありません。
   ボトルにガソリンが付着した場合には、ガソリンを拭き取ってから収納してください。

漏れがないかよく確認してください。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

2013/09/19